

兵庫県丹波市での取り組み課題①

ローカルでスモールな博物館の展示方法と屋外活用を考える

＜課題オーナー：青垣いきものふれあいの里 館長＞

青垣いきものふれあいの里は、身近な自然の中で野鳥や昆虫などの小動物及び植物の観察を通じて自然の大切さやかかわり方を学ぶ施設である。丹波の最北端に位置する小さな博物館は存続の危機や入館者をどのように増やすかという課題を抱えている。数年先にあるリニューアルに向けて、展示空間のデザインや手法に加えて、自然豊かな屋外空間の活用について検討を行う。

目標、内容イメージ

施設の職員や行政へのヒアリング、地域のニーズ調査を行いどういった施設が必要とされているかを調査する。実際に提案を作成やイベントを企画することで、課題の深掘りをすると同時にリニューアルするために具体的な方法を考える。また、実際にリニューアルを予定しているので、長期的に関われる学生などにも向いている。

プログラム詳細

実施場所：兵庫県丹波市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、提案の作成、イベントの企画

9-12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター＋植地

協働者：佐治倶楽部など



青垣いきものふれあいの里 HP

兵庫県丹波市での取り組み課題②

宿場町ライブラリープロジェクト！

<課題オーナー：NPO 法人佐治倶楽部>

佐治倶楽部では空き家を活用した取り組みを実践しており、空き家活用を通じたコミュニティづくりを実践している。さまざまな活動をしている中で、「宿場町ライブラリープロジェクト」という活動に関わってもら。本屋がない青垣町でだれしものが気軽に滞在できるライブラリーづくりを実施し、空き家の活用や多世代交流といった課題に取り組む。

目標、内容イメージ

今回のプロジェクトでは、佐治という宿場町にどういったライブラリーがあればいいかということを実際に活動している方々から話を聞いて、実践を想定して提案を作成してもらう。現在、走り出している企画のブラッシュアップや効果検証などに取り組む。

プログラム詳細

実施場所：兵庫県丹波市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習、ライブラリー会議への参加

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作、
古民家リノベーション

9-12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+植地+地域おこし協力隊

協働者：mamimumemobookbook、まねき堂はしもと、佐治倶楽部など



NPO 法人佐治倶楽部

兵庫県丹波市での取り組み課題③

地域交流拠点 CHATTA ベースの運営を考える

<課題オーナー：CHATTA（ちゃった）>

丹波市氷上町成松の商店街にある地域の方と関西大学の学生とで、改修や運営をしている地域交流拠点 CHATTA ベースの運営方法を考える。商店街と書いてあるが、シャッターが閉じてしまっている店がほとんどの成松で、こういった地域拠点があるべきか考える。

目標、内容イメージ

現在、改修を進めている CHATTA ベース。「商いの拠点」「チャレンジの拠点」「学生の拠点」という三つの柱を軸に活動をしているが、改修後の運営方法や資金の調達方法については検討中であり、ヒアリングや地域調査などを通して、どのような拠点がこの場所にあればいいか提案を考える。

プログラム詳細

実施場所：兵庫県丹波市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習、CHATTA 会議への参加

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

8/23-25 愛宕祭

9-12月 実践、報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター＋植地

協働者：CHATTA、中央地区自治振興会、ATACOM、佐治倶楽部



ATAGOCOMPETITIONPROJECT

CHATTA（ちゃった）

福井県大野市での取り組み課題①

大野の地域メディア制作プロジェクト

<課題オーナー：大野の印刷・編集室 みなと>

大野には、水のまちならではの営みや昔からの知恵や技術、産業が残っている。そういった大野の暮らしや失われつつある知恵を読み解き、それらを伝える紙媒体の制作を行う。現地での印刷・発行までも行う。

目標、内容イメージ

地域の編集に関して、プロジェクトの企画および調査、市民への取材、編集と印刷・発行を通じて、実践的にプロジェクトの一連の流れを経験する。

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター＋三浦

協働者：横町編集部、「月刊のーのー」制作部、荒島社など



MINATO_PRINTINGSTUDIO

大野の印刷・編集室 みなと

福井県大野市での取り組み課題②

福井サーモンの持続可能な養殖

＜課題オーナー：(株)sa-mo＞

現在、世界的な食糧難により、サーモン養殖に使われる餌の主原料である魚粉の価格が、この15年間で約3倍に高騰している。そこで弊社では、有機廃棄物を原料に量産した昆虫を養殖餌に加工し、サーモンの養殖に取り組んでいる。しかし一方で、昆虫を使用していることにネガティブなイメージを持つ方が一定数おり、その解決が今後の課題となっている。

目標、内容イメージ

今回のプロジェクトでは、昆虫由来の餌で飼育したサーモンの商品開発を行い、学校祭などでの販売を通じてポジティブなイメージを持っていただける伝え方を模索していく。

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+三浦

協働者：横町編集部、市内飲食事業者



(株)sa-mo について

＜記事：福井県立大学では初となる学生による大学発ベンチャー企業が誕生しました＞

福井県大野市での取り組み課題③

農と食、都市と地方

<課題オーナー：純ちゃん農園>

広大な土地が広がる大野市。農業は当市の基幹産業となっているが、人口減少と仕事の多様化による労働力不足、農機具に代表される生産コストの増大の一方で価格転嫁が進まず、農業経営が圧迫されて深刻な状況となっている。近年は、食料安全保障と呼ばれるように、食と農の在り方が見直されつつあり、生産者と消費者、みんなで農業について考える機会とすべきだと思っている。そこで、今回は農業に携わったことがないからこそ、農業の現状を知り、そこから農業者が経営を持続でき、消費者も安定的に食料を得られる循環の仕組みを、当農園をモデルに作ってほしい。

目標、内容イメージ

- ・農業の現場をみんなに理解してもらえるような発信(深刻だからこそ耳を傾けられにくい。だからこそ、耳を傾けてもらえるような方策が必要)
- ・当農園の農産物に付加価値をつける方策づくり(規格外品の活用とロスの削減、地産地消はもとより、地産外消の確立)
- ・労働力を確保するための方策(ちょこっとお手伝い アプリ DAY バイトを活用など)

プログラム詳細

実施場所：福井県大野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

7-9月 コンセプトの提案、取材、アウトプット方法の検討、制作

9-12月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

メンター：学生メンター+三浦

協働者：横町編集部、市内飲食事業者



純ちゃん農園

河内長野市南花台での取り組み課題①

映画館のない街での映画上映会の実践

＜課題オーナー：コノミヤテラス運営研究会（関谷+地域住民）＞

2024 年に実施したアボカドプロジェクトでの関大生による映画上映会が好評だったが、一方で、上映会の持続性の部分については課題が残る結果となった。そこで、昨年度の実践結果を踏まえつつ、コノミヤテラスを起点とした文化発信としての持続的な映画上映会の提案と実施を考える。

目標、内容イメージ

- ・河内長野市、南花台に関するフィールドワーク、地域住民へのヒアリング等の調査活動
- ・映画上映会の提案、持続的な活動のための計画づくりとその実践

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市

日程：6-7 月 ガイダンス、事前学習

7-9 月 フィールドワーク、アウトプット方法の検討、実践

9-12 月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4 名

メンター：学生メンター+関谷

協働者：地域住民



コノミヤテラス

河内長野市南花台での取り組み課題②

多様な視点を取り込んだ共生マップをつくりたい

<課題オーナー：河内長野市商店連合会>

現在、河内長野市商店連合会では、他団体と連携しながら、「(仮) 共生マップ」づくりの検討を進めている。マップは、例えば、子連れで行きやすい飲食店、障がい者の方が利用しやすい店舗、海外の方に対するサポートもある事業者といった情報が、一目でわかるような内容を検討している。(仮) 共生マップづくりに関する、アイデア出しや情報収集、企画、提案など、大学生ならではの視点、大学生だからこそできることを活かし、事業者と協働し、提案書をまとめる。

目標、内容イメージ

「共生マップ」づくりに向けた事業者ヒアリングや会議での企画・提案、アイデア出しなどを行い、共創マップづくりにつながるような企画書作成を、多様なジャンルの事業者との協働で進めていく。

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市

日程：6-7月 ガイダンス、事前学習

8-12月 河内長野市商店連合会との打ち合わせ、ヒアリング等の調査
アウトプット方法の検討、企画提案など

12月 最終発表

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4名

協働者：河内長野市商店連合会、市内事業者、地域住民



[つながる かわちながの](#)

市商連ポータルサイト

河内長野市南花台での取り組み課題③

合意形成オンラインプラットフォームの活用方法

<課題オーナー：河内長野市＋コノミヤテラス運営研究会>

河内長野市では、『じっくり話して、しっかり決める』のコンセプトのもと開発された、市民参加型合意形成プラットフォーム”Liqld”を導入し、市の計画づくりやワークショップを進めている。しかし、まだまだ認知度は低い状態にある。河内長野市そして南花台での Liqld の普及方法について具体的に検討し、実践を行う。

目標、内容イメージ

- ・河内長野市、南花台に関するフィールドワーク、行政へのヒアリング等の調査活動
- ・Liqld 活用と普及のための提案とその実践

プログラム詳細

実施場所：大阪府河内長野市

日程：6-7 月 ガイダンス、事前学習

7-9 月 ヒアリング、アウトプット方法の検討、実践

9-12 月 報告

※日程は急遽変更になる場合があります。

定員：4 名

協働者：河内長野市市役所、地域住民



Liqld とは

広島県府中市での取り組み課題

地域×教育：地域の大人と学校の関係性から「新しい教育のカたち」を探る

＜課題オーナー：府中ノアンテナ 小谷直正氏＞

府中市では、中山間地域にある府中明郷学園（小中一貫校）をフィールドに、地域ぐるみの教育に取り組んでいます。昨年度は、地域を知るキャリア学習「模擬会社」などの活動に関西大学の学生が参加し、地域と学校のつながりを体験しました。今年度は「学校に関わる地域の大人たち」の悩みや課題にフォーカスを当て、地域参加型の教育のあり方を探ります。特に、学校と地域の間立つ“メンター”のような役割を模索し、地域・大学・学校が協働できる新たな仕組みづくりを目指します。

目標、内容イメージ（実施する内容例・変動する可能性あり）

- ・地域の大人・教育関係者へのヒアリングを通じて、現場のリアルな課題を整理
- ・「中間支援者＝メンター」的存在の可能性を探るアイデア創出と検証
- ・関西大学の学生による支援活動の企画・試行（授業時間外を活用）
- ・地元大学等との連携を含めた、持続可能な支援体制の提案

プログラム詳細

実施場所：広島県府中市

日程：①9月中旬～下旬 ②10月上旬～中旬

定員：4名

協力団体：一般社団法人 Work Design Lab、府中ノアンテナ、
府中市内の教育・地域関係者（予定）